



足立

区議会だより

発行/東京都足立区議会 ☎(3882) 1111 No. 130

第 1 回
定例会

RECYCLE PAPER
— 森林資源を大切に —



しょうぶ沼公園

平成 4 年度 3 会計予算を可決

21世紀初頭までを展望して区の将来像を描く

足立区基本構想を改訂

会議のあらまし

平成 4 年第 1 回足立区議会定例会は、3 月 2 日から 31 日までの会期 30 日間で行われました。今定例会では、平成 4 年度 3 会計予算及び平成 3 年度 3 会計の補正予算、区基本構想、東綾瀬公園プール・アイススケート場条例等の区長提出 66 議案、議員提出議案 2 件並びに区民の皆さんから提出された請願・陳情について審議が行われ、本文に記載のとおり決しました。

区長提案はすべて原案可決

区長提出議案のうち、平成 4 年度一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計の 3 会計予算については、予算特別委員会を設け審査を付託、それ以外の議案は、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。

この結果、3 会計予算はいずれも可決、他の議案も原案のとおり可決とする各委員会報告のとおり、本会議において議決されました。

議員提出議案は継続審査に

最終日に議員から提出された東京都足立区乳幼児の医療費の助成に関する条例、足立区リサイクル都市条例については、それぞれ所管の常任委員会に付託

され、閉会中の継続審査とすることに決しました。

不健全図書規制に関する要望書を都知事に提出

青少年向けコミック本などの図書類については、子ども向けとは思えないような内容や性表現のものがあり、人格形成期の子どもたちに誤った性の観念を植えつけ、性的非行や犯罪を誘発する恐れが多分にあります。東京都は今定例会において、「青少年の健全な育成に関する条例」の改正を行いました。この審議に合わせ、当区議会では、表現の自由や言論・出版の自由には十分配慮しつつも、同条例を実効性あるものとして整備し、実態に即応できる体制を確保されるよう、都知事あてに要望書を提出しました。

主な内容

■区政を問う	2～5 頁
(各党・会派の代表質問)	
■可決した主な議案	5～6 頁
・意見の分かれた案件	6 頁
・道路認定等	6 頁
■平成 4 年度予算審査のあらまし	6～8 頁
・審査の経過	6 頁
・各党・会派の態度	7 頁
・グラフ(各会計予算)	8 頁
■みなさんからの請願・陳情	8 頁
■議会短信	8 頁



次の本会議は—
6月9日・10日・11日・24日
に開会される予定です。

各党・会派の代表質問
議案の審議に先立ち、各党・会派を代表する14人の議員が、3日間にわたり、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを聞きました。
以下、その一部を掲載します。

自由民主党 足立区議団



浅田 良作
議員

望ましい区長像について

【問】区長を選ぶときどんな基準で選んだらよいか私の考えた理想の区長像をあげてみるので、区長の考えをお聞かせ願いたい。

○ 心身共に健全で私情に流されず強い意志と実行力のある人

○ 円満な人格で区長としての経営感覚と使命感のある人

○ 区民の代表の議会の意見を尊重し大局的判断のできる人

○ 議会にも気配りを大切にして部下を上手に掌握すること

○ 党利党略・私利私欲にまどわされず、権力欲や役職を個人的に利用しない人

【答】区民・議会・職員に対して責任と権限を持つ大切な役目で、区民の側に立って物を考え判断し実行できる人、議会とは相互にけん制しあいながら相協力して円満な運営ができる人が望ましい。職員に対してはその能力を引出すようなリーダーシップの発揮できる人が望ましい。行政改革の推進と区民サービスの限界について

【問】有限の財源から区民要望にいかにか公平に配分するかは行政の大きな役目である。行政がやらなければならない役割と、民間企業でやるのが適当な事業をはっきりと区分しておくことが必要である。小さな政府という考え方で、行政は民間ではできない事業で区民に必要なサービスに限定するべきだと思うが、

区の考え方を示せ。

【答】行政上の区民サービスは、ご指摘のとおり限界があり、区民と企業の役割がある。基本的には企業や区民では対応できない道路・教育・生活保護などの分野が行政の担当だと思う。民間の役割をできるだけ尊重するとともに区民サービスにも受益者負担をお願いし、公平性を図っていきたいと考えている。

【問】高齢者の就労対策について

【答】高齢者の生き甲斐対策と労働力の有効活用という両面からこの問題を進めるべきである。働く場所を確保することと再就職の機会を作るため本格的職業教育と相談機能を充実させることが重要であると思うがどうか。

【問】都は高齢者就業総合センターを平成7年度に開設する予定であり、また、高齢者就業相談所がスタートしたので総合センターとの一体的運営により、一層の機能の向上が期待される。シルバー人材センターについては、一般雇用になじまないが働く意欲をもつ人のために、一層の支援と強化策を検討していく。

【問】信託関係をどんな方法で作ることを考えているのか。また再開発事業の応援のため担当部を作り職員7名を派遣する計画を立てたが、どんな理由で派遣するのか。どのように状況が好転したのか。今後区の方針が大きく転換するのか伺いたい。

【答】信託関係は何もない中で合意形成は難しく、地権者にとって権利変換がどうなるのか、すなわち将来の生活設計がどうなるのかが一番心配事であると判断している。そのため、区は事業推進体制を整備し基本的な事業フレームの構築を図り、権利変換計画の素案を作成して具体的な案を示しながら個々の地権者と相談・協議を重ねていくことが必要であると考えている。職員の派遣については現状を打開するために事業推進体制の確立が必要であると判断し地権者個々の意向の確認のうえで三者それぞれが推進体制の必要性が確認されたので今後積極的に支援することになったものである。高齢者に対する資産活用福祉制度について

【問】自分の持っている土地・家屋等の資産を必要に応じて資金化して在宅福祉サービスの費用にするなどの制度を実施せよ。

【答】足立あいあい公社が金融機関と連携して、居住用の資産を担保にして公社の在宅サービスや医療費・生活費等の福祉資金を貸しつける制度を、平成5年に事業化する予定である。

【問】東京都における「清掃事業移管問題協議会」は、昭和59年5月最終報告書を都区検討委員会に報告しているが、未だに目に見える進展がない。

【答】第22次地方制度調査会において、清掃事業を含む都区合意事項については、概ね特別区に移譲すべきとの答申が決定された。清掃事業の移管は重要な問題であり、具体的・専門的な検討が必要である。したがって答申に基づき、平成2年10月には都区制度推進協議会を設け、その下に検討部会を設け鋭意検討を進めている。

【問】平成2年11月から「足立区ゴミ問題対策委員会」では、ゴミ資源の有効活用を図るためリサイクルシステムを生み出す検討を始め、平成3年7月最終答申が出された。この答申を受けて、区は今後どのようにゴミ問題に取り組んでいくのか。

【答】再利用実践団体の支援のため、缶プレス機と紙、びん、缶などを保管するプレハブ倉庫の貸し出しを行っているが、集団回収のなお一層の支援として

スチール缶などの回収の補助を行っている。また、「紙パック回収ポスト」を設置して牛乳パックの回収を行うほか、リサイクルセンター建設の早期実現に向けて努力してまいりたい。

【問】都市計画法と建築基準法の大改正に、区はどう対応するのか

【答】都市計画法の基本法である都市計画法と建築基準法の大改正が、それぞれの審議会から答申が出された。これを受けて法案が提出され、平成4年度には執行されることがだが、区はこれに対しどのように対応し、どのような街づくりを行っているのか。

【問】区としては、足立区基本構想に基づく土地利用計画、まちづくり総合指針及び地区環境整備計画など、まちづくり方針との整合を図ると共に、国・都の動向を踏まえて、まちづくりの総合的な対応を図りたいと考えている。早い時期に、全庁的なプロジェクトによるまちづくりの再構築を検討したい。ダウニング導入の判断基準について伺う

【問】この答申に盛り込まれたダウニングは、米国の都市づくりの新しい理念である成

長管理政策のツールの一つであるが、高度利用によって容積率を変えるダウニングは非常に問題がある。どの程度の判断で認めるのか。

【答】この手法については、その指定の方法や凍結解決の方法等がまだ明らかになっていないので、法改正の動向を見守っていききたい。

基本的には、都市基盤の整備状況や、土地利用の状況を踏まえ対応していくべきものと考えている。



多目的ホールの建設計画は

【問】各種のホールの今後の建設計画を明確に答えよ。また、



田中 章雄
議員

清掃事業の移管について伺う

【問】東京都における「清掃事業移管問題協議会」は、昭和59年5月最終報告書を都区検討委員会に報告しているが、未だに目に見える進展がない。

【答】第22次地方制度調査会において、清掃事業を含む都区合意事項については、概ね特別区に移譲すべきとの答申が決定された。清掃事業の移管は重要な問題であり、具体的・専門的な検討が必要である。したがって答申に基づき、平成2年10月には都区制度推進協議会を設け、その下に検討部会を設け鋭意検討を進めている。

【問】平成2年11月から「足立区ゴミ問題対策委員会」では、ゴミ資源の有効活用を図るためリサイクルシステムを生み出す検討を始め、平成3年7月最終答申が出された。この答申を受けて、区は今後どのようにゴミ問題に取り組んでいくのか。

【答】再利用実践団体の支援のため、缶プレス機と紙、びん、缶などを保管するプレハブ倉庫の貸し出しを行っているが、集団回収のなお一層の支援として

スチール缶などの回収の補助を行っている。また、「紙パック回収ポスト」を設置して牛乳パックの回収を行うほか、リサイクルセンター建設の早期実現に向けて努力してまいりたい。

【問】都市計画法と建築基準法の大改正に、区はどう対応するのか

【答】都市計画法の基本法である都市計画法と建築基準法の大改正が、それぞれの審議会から答申が出された。これを受けて法案が提出され、平成4年度には執行されることがだが、区はこれに対しどのように対応し、どのような街づくりを行っているのか。

【問】区としては、足立区基本構想に基づく土地利用計画、まちづくり総合指針及び地区環境整備計画など、まちづくり方針との整合を図ると共に、国・都の動向を踏まえて、まちづくりの総合的な対応を図りたいと考えている。早い時期に、全庁的なプロジェクトによるまちづくりの再構築を検討したい。ダウニング導入の判断基準について伺う

【問】この答申に盛り込まれたダウニングは、米国の都市づくりの新しい理念である成

長管理政策のツールの一つであるが、高度利用によって容積率を変えるダウニングは非常に問題がある。どの程度の判断で認めるのか。

【答】この手法については、その指定の方法や凍結解決の方法等がまだ明らかになっていないので、法改正の動向を見守っていききたい。

基本的には、都市基盤の整備状況や、土地利用の状況を踏まえ対応していくべきものと考えている。

【問】暴力団新法施行と警察への協力体制、職安の統廃合を伺う

【問】暴力団新法施行は歓迎すべき施策である。区では、(勸暴)力団追放都民センターへの出資等、国や都の政策に協力しているが、地元警察にどのように協力できるのか。また、千住河原町の職安出張所付近の不安な状況は一向に改善されていない。行車の一環として国に対し、職安の統廃合を提案してはどうか。

【答】暴力団新法施行と警察への協力体制については、区行政にとって未経験の分野である。警察と十分な対応をとりながら効果的な方法を探ってまいりたい。また、職安の問題については、何度か職安並びに都と折衝しているが難しい。今後とも問題解決に向けて努力を続けたい。鉄道高架化に熱意ある職員を配置し人材育成に努めよ

【問】分野の異なる職場へ配置転換した職員が、希望とやる気をもって仕事に取り組み、即戦



高島 直樹
議員

都市計画法と建築基準法の大改正に、区はどう対応するのか

【問】都市計画法の基本法である都市計画法と建築基準法の大改正が、それぞれの審議会から答申が出された。これを受けて法案が提出され、平成4年度には執行されることがだが、区はこれに対しどのように対応し、どのような街づくりを行っているのか。

【問】区としては、足立区基本構想に基づく土地利用計画、まちづくり総合指針及び地区環境整備計画など、まちづくり方針との整合を図ると共に、国・都の動向を踏まえて、まちづくりの総合的な対応を図りたいと考えている。早い時期に、全庁的なプロジェクトによるまちづくりの再構築を検討したい。ダウニング導入の判断基準について伺う

【問】この答申に盛り込まれたダウニングは、米国の都市づくりの新しい理念である成

長管理政策のツールの一つであるが、高度利用によって容積率を変えるダウニングは非常に問題がある。どの程度の判断で認めるのか。

【答】この手法については、その指定の方法や凍結解決の方法等がまだ明らかになっていないので、法改正の動向を見守っていききたい。

基本的には、都市基盤の整備状況や、土地利用の状況を踏まえ対応していくべきものと考えている。

【問】暴力団新法施行と警察への協力体制、職安の統廃合を伺う

【問】暴力団新法施行は歓迎すべき施策である。区では、(勸暴)力団追放都民センターへの出資等、国や都の政策に協力しているが、地元警察にどのように協力できるのか。また、千住河原町の職安出張所付近の不安な状況は一向に改善されていない。行車の一環として国に対し、職安の統廃合を提案してはどうか。

【答】暴力団新法施行と警察への協力体制については、区行政にとって未経験の分野である。警察と十分な対応をとりながら効果的な方法を探ってまいりたい。また、職安の問題については、何度か職安並びに都と折衝しているが難しい。今後とも問題解決に向けて努力を続けたい。鉄道高架化に熱意ある職員を配置し人材育成に努めよ

【問】分野の異なる職場へ配置転換した職員が、希望とやる気をもって仕事に取り組み、即戦



長管理政策のツールの一つであるが、高度利用によって容積率を変えるダウニングは非常に問題がある。どの程度の判断で認めるのか。

【答】この手法については、その指定の方法や凍結解決の方法等がまだ明らかになっていないので、法改正の動向を見守っていききたい。

基本的には、都市基盤の整備状況や、土地利用の状況を踏まえ対応していくべきものと考えている。



瀬沼 剛
議員

暴力団新法施行と警察への協力体制、職安の統廃合を伺う

【問】暴力団新法施行は歓迎すべき施策である。区では、(勸暴)力団追放都民センターへの出資等、国や都の政策に協力しているが、地元警察にどのように協力できるのか。また、千住河原町の職安出張所付近の不安な状況は一向に改善されていない。行車の一環として国に対し、職安の統廃合を提案してはどうか。

【答】暴力団新法施行と警察への協力体制については、区行政にとって未経験の分野である。警察と十分な対応をとりながら効果的な方法を探ってまいりたい。また、職安の問題については、何度か職安並びに都と折衝しているが難しい。今後とも問題解決に向けて努力を続けたい。鉄道高架化に熱意ある職員を配置し人材育成に努めよ

【問】分野の異なる職場へ配置転換した職員が、希望とやる気をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

力をもって仕事に取り組み、即戦

代表質問

区政を

傍聴してみませんか
区議会本会議は公開されています

【問】高齢者の増加と児童数の減少によって、公園の利用ニ

【答】昭和61年に梅島駅北地区市街地再開発促進区域を指定し、民間開発を促し良好なまちづくりへと誘導してきた結果、都市計画道路補助255号線の一部整備により、地区内生活道路の確保や公園の整備を図ってきている。ご指摘の点については、今後鉄道事業者や商店街の協力を得ながら、全体的に潤いのあるまちづくりに向けて努力したい。

【問】梅島駅周辺は、中央本町庁舎への表玄関口としては、景観的にも機能的にもやや整備不足だ。そこで、ガード下の環境改善やわかりやすいサイン計画、緑の創出等によって、潤いと活力に満ちた駅周辺の全体的な環境整備に取り組んでいく考えはないか。

【答】限られた人員を効果的、効率的に活用するため、職員一人一人が問題意識を持ち、物事に対処していくことが重要と考えている。このため、研修体制を強化し、鉄道高架の支援等の人材育成に努力してまいりたい。

力となることが行革人事の大きな目標である。定数は正は至上の命題であるが、配置転換に有効に対応できる人材の育成に努められたい。特に鉄道高架事業等には、充分熱意ある職員を配置すべきと思うがどうか。

【問】高齢者の増加と児童数の減少によって、公園の利用ニ

【答】国も、都市公園の内容や設置基準を見直す方針を打ち出し、この計画中で、高齢化社会への対応として、園内にゲート・ボール場など高齢者向けの施設を織り込んだ多目的公園づくりを取り入れると聞いている。これらの動向を踏まえ、公園の改良や新設の際取り組みたい。

【問】学校教育が普遍的な目標にしているものに、知育・德育・体育があるが、これは生涯教育でも生かされるべきである。体育には体育指導委員会、德育には青少年委員会があるが、知育面での組織は特にない。「生涯学習指導委員会」を設立し、生涯学習を具体的に進める体制を検討すべきと思うがどうか。

【問】区民のさまざまなスポーツ要望に対して、大会、講習会、教室等区民が気軽に参加できるプログラムを行政が企画しているが、今後新しい企画として、以前行なっていた元旦マラソン大会のような、足立区独自性に富む区民マラソン大会をぜひ開催すべきと思うが、そのような計画があるか伺いたい。

【答】現在荒川河川敷を利用し、区民のロードレース大会と駅伝大会を実施しているが、この二つの事業だけでは今後対応しきれないと予想される。このため、舎人公園内の陸上競技場及び荒川河川敷内の施設整備の状況をみながら、マラソン大会の企画について検討したい。

【問】現在、42の道県及び新宿区・中野区等では乳幼児の医療費は無料である。子供の減少が続く足立区としても、社会情勢の変化、区財政の状況等を踏まえて、乳幼児の医療費無料化を

【問】乳幼児の医療費助成については、現在、ひとり親家庭医療費助成等の、医療費の支払いが困難な家庭に対し行っている。児童の減少傾向が続き、23区の中でも助成制度の取り組みが広がっているが、足立区単独で全世帯を対象とした助成制度の拡充は考えておらず、東京都の動向を見守っていききたい。

【問】毛長川の護岸工事に早期着手を。毛長川を中心に変な被害となつた。毛長川の一日も早い抜本的な護岸工事に着手すべく、都や国に対し強く要請するとともに、区でできる工事は、先行して実施すべきと思うがどうか。

【問】現在、東京都では毛長川の護岸改修を下流部から順次整備し、法面防護や護岸の嵩上げ工事も実施している。区でも護岸の補強や堤防の舗装等できるだけの対策を行っている。また、毛長橋の架替は、都が護岸改修にあわせて実施する計画である

【問】日暮里・舎人線の事業計画は、最近、足踏み状態のようにが見通しはどうか。また、全体計画を一步前進させるために区はどのように考えているのか。

【問】学校開放に伴う夜間照明設備を利用実態に即して設置せよ

【問】学校開放を進めるにあたり、校庭の夜間使用のための照明設備は可能な学校から設置すべきである。特に入谷中学校のように利用度も高く周辺の環境も設置可能な状況にある学校もあるので強く要望する。

【問】夜間照明は、昭和63年度から各ブロック1校ずつ整備し、平成3年度末で7校となる。入谷中学校と同じブロックでは、すでに東伊興小学校に設置されているが、今後は特に利用度の高い地域、他のスポーツ施設の

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

【問】喫煙問題はすでに個人の嗜好や趣味の領域で論議すべき問題ではなく、職場の環境対策や保健衛生面など多方面での分煙対策が求められている。そこで、区としての分煙に対する基本的な考え方、区施設の分煙対策等を定める分煙条例を制定すべきと思うがどうか。

も進んでいる。しかし、教職員が喫煙することを前提とした分煙化の導入は、児童・生徒に対する禁煙教育にも影響するので慎重に検討したい。



山本 明儀
議員

在宅療養支援システムを導入せよ

【問】名古屋市では医療・保健・福祉の三つの面で相互に連携した在宅療養支援システムを実施し、「地域自体が病院」とも言われるほどの成果を上げている。当区でも十分な治療・介護を受けられずに苦しんでいる高齢者も多く、名古屋市のようなシステムを導入すべきではないか。

【答】今後の急増が予測される要介護高齢者対策として当区では、現存の高齢者サービス調整チームの機能強化とともに、平成4年度策定の地域保健福祉計画において、総合的な保健・医療・福祉の連携と協働のシステムを構築することが不可欠であり、ご指摘の名古屋市のシステムも大いに参考としていきたい。福祉パトロールを導入せよ

【問】事前に実習を積んだ、在宅福祉訪問指導員が訪問パトロールを行い、状況を把握し、悩みを引き出し、福祉サービスの利用を勧めたり、手続代行をしたりする福祉パトロール制度を社会福祉協議会に導入されたい。

【答】今後、福祉需要が個別化・多様化し増大していく中で、地域の潜在化したニーズをサービスに結びつけることは重要であり、ご提案の福祉パトロール制度も含めた訪問活動のあり方を研究していきたい。



研究していきたい。

家庭奉仕員（区職員）の役割と活動のあり方について問う

【問】①寝たきり高齢者世帯への派遣が少ない②介護サービスの提供率が低い③訪問の回数・時間が利用者のニーズに合わない④緊急時の対応が弱い等の問題が指摘されている家庭奉仕員のホームヘルプサービスを、在宅福祉全体の中でどう位置づけるのか。また、家庭奉仕員の退職不補充の方針は変えないのか。

日本共産党 足立区議団



大島 芳江
議員

新基本構想について問う

【問】これまでの基本構想に基づいて行われた区政運営は、区民犠牲の「行革」「ため込み」「ムダ使い」の典型であった。今後もこの路線を踏襲するのか。また、これまでの構想に打ち出されていた「日本国憲法のもとに」「区民生活優先」「真の自治の確立」の言葉が、新基本構想からなぜ消えたのか。さらに区として「非核平和都市宣言」を行うことを盛り込むべきと思うがどうか。

【答】新基本構想は、これまでの区政の進捗状況を踏まえ、新たな課題に対応するため策定するものである。その実現に向けて区民参画のしくみをつくり、創造性豊かな都市経営をめざし

問題が指摘されている家庭奉仕員のホームヘルプサービスを、在宅福祉全体の中でどう位置づけるのか。また、家庭奉仕員の退職不補充の方針は変えないのか。

【答】在宅福祉の中でホームヘルプサービスの役割は極めて大きい。この制度の理想は、必要な人に、必要な時に、必要な場所ですサービスが提供されることである。この理想に向け、個別処遇の向上を図るため、あいあい公社のサービス等も含め、サービス供給の総量拡大を図る。また、退職不補充方針の今後については、家庭奉仕員の重要性を認識したうえで検討する。

日本共産党 足立区議団

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

より、それぞれの商店街に合わせ、制度を効果的に選択し組み合わせることが可能になる。また、会社の事業として、自主事業と受託事業、それに大型出融資対象事業の3本の柱を設定し、有機的な組み合わせにより所期の目的を達成していく。

【問】最終処分場を見学した結果、リサイクルへの意識が高まり、ゴミの出し方も変わったとのことだが、「百聞は一見にしかず」である。区民を対象にした区独自の最終処分場見学会を行う考えはないか。また、区、区民、事業者が一体となってゴミの減量、リサイクルに取り組む指針となるべき「条例」を制定すべきと思うがどうか。

【答】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。



今井 重利
議員

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

成4年度から福祉タクシー券が利用しやすいように、クーポン券に変更してまいりたい。



鈴木 秀三郎
議員

区内の農業を守り、緑地としての農地の保全を図れ

【問】区は、都市農業が果している役割を評価し、良好な都市環境を守るという立場から、生産緑地の指定要件緩和を国に働きかけよ。また、この法改正が行われるまでの間、区独自で、生産緑地法の指定要件に満たない営農意欲のある農家の農地を緑地として保全する（仮称）緑地補助金制度を設け、固定資産税の軽減措置を図れ。

【答】今回の法改正は、緑地やオープンスペースを確保し、優

日本社会党 足立区議団



瀬川 三則
議員

古性区政12年を問う

【問】古性区政は3期12年を通じ、新保守主義による行革路線を推進してきた。しかし「内にゆとり外に国際協力を」と言われる今日では、区民本位の新たな区政展開が要求される。古性区長の役割は終了したとも思われるが、12年間の御所感を伺う。

【答】「最小の経費で最大の効果」を常に心掛け、生活基盤の整備・まちづくり・福祉・教育施策の充実等、社会の変化に適切に対応できる体制づくりをめざして、12年間まい進してきた。新基本構想案をどう思うか

【問】最終処分場の見学会については、リサイクル推進員や一般区民を対象に、平成4年度に2回実施する予定であり、モデル地区見学会交流会も実施したい。条例制定については、都の動向を見ながら検討してまいりたい。

良な住宅地の供給を促進するために、固定資産税や相続税・地価税などの法改正とリンクして打ち出されたものであり、法改正を働きかける考えはない。また、補助金制度の設置も、法改正の主旨からして困難である。良好な公共住宅の供給を図れ

【問】区民が安心して住み続けられる権利を保障するため、区立住宅、区営住宅の建設を中心に、良好な公共住宅の供給を図るべきと思うがどうか。

【答】現在、足立区住宅基本計画策定調査委員会を設置し、住宅マスタープランを検討している。公共住宅の供給はもとより良質な民間住宅の供給の方策など総合的な住宅対応を検討しているところである。

【問】21世紀に直結する新基本構想案は、総じてこれを貫く精神が欠けている。現構想と比して簡潔ではあるが格調がなく、従来の行革路線を踏襲して企業や地域に傾斜した施策を羅列した行政的作文と感ずるが、区民要望は反映されていると思うか。

【答】親しみやすい平易な文章としたため御指摘のような印象を持たれたと思われるが、基本構想を貫く精神については基本理念に明示している。また、新時代の区民要望に対応したバランスのとれた体系であると思う。公平な保育行政を求める

【問】園児定数の見直しにも拘わらず多くの未措置児が出ている。特に、0・2歳児の入所が

困難で地域間の格差も問題だ。
また、家庭福祉員制度に比べ
2 倍の保護者負担が必要な無認
可保育所に対しても、助成を増
額すべきと思うがどうか。

【答】平成 4 年度に全般的な保
育需要調査を実施し、今後の保
育のあり方を検討する。また、
無認可保育所は将来的には解消
されるべきで、暫定措置として
の助成であり、家庭福祉員と同

足立区民連合



逸見 英幸
議員

来年度予算案について伺う

【問】国・都に比べて大きな伸
び率であり、積極的な財政運営
を評価するが、区長選の年に年
間総合予算を組んだ理由は何か
また、これまで努力した行政改
革の成果をどう反映させたのか。

【答】区長選は 9 月中旬であり、
仮に骨格予算を編成すると 12 月
補正となり、計画・新規事業の
実施が困難となるので、年間総
合予算として編成した。

また、行政改革の成果があつ
たからこそ、厳しい経済局面の
中でも、積極的な予算編成がで
きたものと考えている。

区職員のボランティア体験研修
について問う

【問】区職員が居住地で行うボ
ランティア活動を、職員研修の
一環として取り入れるというこ
とだが、自治体職員は全体の奉
仕者であり、問題が残る。職務・
公務の一環であるとする判断基
準を示せ。

【答】この制度は、未だ研修所

額の助成をするのは困難である。



可決した主な議案

予 算

平成 4 年度一般会計予算
平成 4 年度国民健康保険特別会
計予算
平成 4 年度老人保健医療特別会
計予算

内容を 8 頁に掲載。

平成 3 年度一般会計補正予算
(第 3 号)

平成 3 年度予算総額を 2 千 15
億 4 千 198 万 4 千円とするもの。
平成 3 年度国民健康保険特別会
計補正予算(第 2 号)

平成 3 年度予算総額を 369 億 6
千 768 万 6 千円とするもの。
平成 3 年度老人保健医療特別会
計補正予算(第 1 号)

平成 3 年度予算総額を 268 億 8
千 174 万 3 千円とするもの。

基本構想

足立区基本構想

足立区基本構想(昭和 53 年 12
月 8 日議決)を改訂するもの。

渡辺修治議員(共産党)より
本会議において反対の立場か
らの討論あり。

条例の制定・改正・廃止

足立あいあい公社の助成等に関
する条例の一部を改正する条例
足立あいあい公社が財団法人
となるため、規定の整備を行う
もの。

足立区職員定数条例の一部を改
正する条例
職員定数 4 千 940 人(合計)を

区内中小企業者との連携を強化
し、区内産業振興の推進を図る
もの。

足立区国民健康保険条例の一部
を改正する条例

地方税法の一部改正により、
規定を整備するもの。

足立区住区センター条例の一部
を改正する条例

千住河原町住区センター・西
伊興住区センターの開設及び規
定を整備するもの。

大島芳江議員(共産党)より
本会議において反対の立場か
らの討論あり。

足立区基本構想審議会条例を廃
止する条例

基本構想審議会を廃止するも
の。

特別区民税に係る東京都足立区
特別区税条例の臨時特例に関す
る条例を廃止する条例

特例の適用期間が満了したこ
とによる条例の廃止。

足立区老人福祉手当条例の一部
を改正する条例

「老人福祉手当」を「高齢者
福祉手当」に改め、手当の額を
引き上げるとともに、規定を整
備するもの。

足立区心身障害者福祉手当条例
の一部を改正する条例

足立区難病患者福祉手当条例の
一部を改正する条例

いずれも、手当の額を引き上
げるもの。

足立区児童育成手当条例の一部
を改正する条例

支給対象児童の年齢及び手当
の額の改定。

足立区授産場条例の一部を改正
する条例

するもの。

足立区私道排水設備助成条例の
一部を改正する条例

私道に排水設備を設置する際
の助成率の改定。

足立区道路占用料等徴収条例の
一部を改正する条例

道路占用料の改定。

足立区公共溝渠管理条例の一部
を改正する条例

公共溝渠の使用料の改定。

足立区立公園条例の一部を改正
する条例

公園の占用料を改定するほか
都市農業公園の区民農園を廃止
するもの。

足立区中央本町地区・梅島地区・
神明三丁目地区・扇一丁目地区
地区計画の区域内における建築
物の制限に関する条例の一部を
改正する条例

いずれも、壁面位置の制限を
緩和するもの。

足立区住宅修繕資金及び宅地整
備資金融資基金条例の一部を改
正する条例

基金の額を調整するもの。

足立区東綾瀬公園プール・アイ
ススケート場条例

東綾瀬公園プール・アイスス
ケート場を開設するもの。

足立区プール条例の一部を改正
する条例

プールの使用料を改定するも
の。

足立区地域体育館条例の一部を
改正する条例

竹の塚体育館の駐車場を、有
料にするもの。

足立区育英資金貸付条例の一部
を改正する条例

育英資金の貸付対象を拡大す
るとともに貸付金額を改定する

もの。

足立区義務教育施設建設資金積
立基金条例

義務教育施設建設資金積立基
金を設置するもの。

足立区特別区税条例の一部を改
正する条例

地方税法の一部改正に伴い、
規定を整備するもの。

請負契約

①契約金額②相手方(JV 共同
企業体)方法はすべて指名競争
入札

区立千寿第七小学校解体その他
工事 ① 1 億 2 千 566 万円② 高橋・
小沼建設 JV

東部区民ホール及び東部福祉事
務所改修工事 ① 1 億 42 万 5 千
円② 柳渡喜建設

東部区民ホール及び東部福祉事
務所改修機械設備工事 ① 1 億
1 千 433 万円② 東洋・水伸建設 JV

八か村落し親水緑道整備その 6
工事 ① 4 億 2 千 745 万円② 金澤
建設㈱

商店街カラー舗装工事 ① 1 億
2 千 772 万円② 柳河合組

梅田堀整備工事 ① 2 億 1 千 424
万円② 堀真建設㈱

東六甲町付近枝線工事及び堀削
復旧工事 ① 1 億 6 千 686 万円②
興進建設㈱

保塚町、南花畑二丁目付近枝線
工事及び堀削復旧工事 ① 1 億
1 千 845 万円② 小武建設㈱

区立都市提携記念生物園(仮称)
建設工事その 5 ① 3 億 1 千 621
万円② 富士植・英建設 JV

区立ベルモント公園(仮称)造
成(造園)工事 ① 3 億 4 千 196
万円② 森川・大洋建設 JV

(6 頁につづく)



審査の経過

平成4年度各会計予算審査のあらましと各党・会派の態度

◆予算特別委員会を設置
今定例会に区長から、一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計の3会計に係る平成4年度の予算案が提出されました。

これを受けて議会は、3月4日の本会議において予算特別委員会を設置し、委員28名により3月11日から3月18日までの延べ6日間にわたって慎重かつ積極的な審査を行いました。

委員会は審査に先立ち、委員長に藤沼壮次議員、副委員長に藤崎貞雄議員、大森健司議員の2名を選任し、引き続き審査に入りました。審議方法は、3議案を一括議題に供し、各款別に質疑応答を重ね、最終日には各

◆平成4年度区予算の概要
区では二〇一〇年をめざし、行政財運営の支柱となる新基本構想を策定し、区民が「豊かさ」を実感できるまちづくりに取り組もうとしています。その具現化の初年度となる平成4年度予算について、区長は、景気が減速しつつある今こそ、効率性を担保しつつも思い切った積立基金の取崩しをするなど歳入を拡大し、人々の生活や企業活動に活力を与えうる積極的な行財政の展開を図っていくとの観点から編成したと述べており、一般会計2千158億4千8百万円、国民健康保険特別会計378億1千

◆審査の結果
延べ6日間に及ぶ質疑を終結し、引き続き自由民主党馬場繁太郎議員、公明党藤崎貞雄議員、共産党額賀和子議員、社会党野中栄治議員、区民連合逸見英幸議員の各党・各会派を代表する5人の委員から、予算3議案に対する意見（討論）が述べられました。その内容（要旨）は、次頁に記載のとおりです。

討論終結後3議案をそれぞれ採決に付したところ、いずれも共産党を除く各党・各会派の賛成多数により、原案どおり可決されました。

委員会における審査の経過及び結果は、3月31日の本会議において藤沼委員長から報告がなされ、引き続き採決が行われました。

■特別区道路線の認定

所在地	延長(m)	幅員(m)
保木間五丁目地内	79.47	4.12～4.97
神明南一丁目地内	54.62	4.12～4.13

■区有通路路線の設置

所在地	延長(m)	幅員(m)
大谷田一丁目地内	153.44	2.05～4.39
保木間五丁目地内	85.05	3.50～3.97
島根三丁目地内	95.78	3.85～4.08
六月一丁目地内	34.84	3.27～3.74
新田三丁目地内	67.05	3.95～3.98

■特別区道路線の廃止

所在地	延長(m)	幅員(m)
花畑八丁目地内	25.90	3.50

■意見の分かれた案件

案件名	結果	会派名及び結果				
		自由民主党	公明党	共産党	社会党	区民連合
足立区基本構想	可決 原案	○	○	×	○	○
平成4年度足立区一般会計予算、平成4年度足立区国民健康保険特別会計予算、平成4年度足立区老人保健医療特別会計予算、平成3年度足立区一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	×	○	○
足立あいあい公社の助成等に関する条例の一部を改正する条例、足立区職員定数条例の一部を改正する条例、足立区立千寿第七小学校解体その他請負契約、株式会社足立都市活性化センターの助成等に関する条例、足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例、足立区住区センター条例の一部を改正する条例、足立区公共溝渠管理条例の一部を改正する条例、足立区プール条例の一部を改正する条例、足立区地域体育館条例の一部を改正する条例、足立区義務教育施設建設資金積立基金条例、足立区特別区税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	×	○	○

（→5頁からのつづき）
区立ベルモント公園（仮称）造成（建築）工事 ①1億9千364万円②（株）相沢工務店
（仮称）足立区関原・本木住区センター新築工事 ①3億1千930万円②（株）小林工務店
区立東綾瀬保育園園舎改修工事 ①1億3千905万円②（株）奥井建設（株）

契約の変更

現在施工中の請負契約に設計変更が生じたため、契約金額を変更するもの。
東伊興二丁目付近枝線工事及び掘削復旧工事 10億9千966万5千80円→11億9千176万1千500円
区立千寿本町小学校新築工事 22億7千630万円→25億4千441万9千840円
新芝川護岸改修工事 3億8千676万5千円→4億4千815万3千円

その他の議案

（仮称）足立区児童文化センター・ホール建設における都営住宅合築部分の工事の施行に関する変更協定の締結について
協定金額1億4千57万6千815円を1億7千696万8千563円に増額変更し、また、工期について、平成4年3月を平成5年3月に変更するもの。

専決処分の報告

損害賠償の額の決定
①公務中の区職員が都道100号線を横断する際、谷塚橋付近で車両衝突事故を起こしたのに係る損害賠償の額（42万2千836円）を決定するもの。
②校内マラソン大会に参加した生徒が、競技開始前に石を投げたところ、車両に当たりフロントガラスを破損したのに係る損害賠償の額（7万円）を決定するもの。

議決を得た契約の変更

（仮称）足立区児童文化センター・ホール新築工事ほか11件。
今回の委員会において焦点となった主な事項としては、今後の経済予測と区税収入に与える影響、長期的な財政運営の考え方、基金運用の考え方、防災無線のあり方、都市活性化センターの問題、高齢者の福祉・住宅問題・地域健康づくり運動、駐車・駐輪場対策、北千住駅西口再開発問題、学校5日制、学校施設の一部開放の考え方などがありました。

◆主な質疑事項

214万6千円、老人保健医療特別会計293億1千993万6千円の積極型予算となっています。

結果は委員会審査結果のとりまとめで可決され、総額2千829億8千万円に及ぶ平成4年度足立区3会計予算が成立しました。

自由民主党足立区議団

賛成

積極的な大型予算編成を高く評価
区制60周年事業を区発展の起爆剤に

平成4年度の政府並びに都の予算は、景気の落ち込み等の影響により緊縮型となつていくにもかかわらず、21世紀まであと10年を切つたこの時期に、区が積極的な大型予算を計上したことは多いに賛意を送るものである。

平成4年度の実施計画に定めた計画事業は、予定された94事業中92事業を予算化し、計画事業の予算化率も97・9％で、これは対前年度比40・2％増、新規拡充事業も122事業とこの数年では最高になる。したがって、一般会計の伸び率16・4％と近年にない伸び率を計上したが、計画倒れに終らぬよう、また、平成5年度以降の予算編成に著しく影響を残さぬよう要望しておく。

歳入面では、特別区税対前年度比12・4％と大きく伸びを見込んでいるが、現在の伸び率は給与所得の伸びであり、景気の落ち込み等による影響を軽視して一般所得の伸びを多く見込んだ点に一抹の不安を感じる。交付金、区債、積立基金の活用は適切な対応である。

歳出面では、今当区が直面している各種課題を前向きに取り入れたことに、最大の評価を送るものである。以下具体的に要望する。

義務教育施設の建替は、統廃合を踏まえ長期的な実施計画をたてる必要がある。基金の積立はその裏付けのもとに設定すべきである。魅力ある学校づくりをめざし、学区域自由化等の思いきった教育改革も必要である。公社は事業の長期計画を示して、適切な人事管理に努めよ。北千住駅西口再開発事業や鉄道立体化事業の推進には、確たる展望に立つて全力を傾注されたい。区制60周年記念事業は、単なるお祭り騒ぎに終らせず、21世紀に向けての足立区発展の起爆剤となるよう期待する。

以上の他に、わが党の提案した要望等には特に前向きに検討し、区民の負託に応えられるよう強く要望し討論を終る。

足立区議会公明党

賛成

わが党の主張を取り入れており評価
不用となる眼内レンズ予算は転用を

昭和61年に始まった大型景気もバブルの崩壊によって下降局面に入り、平成4年度政府予算は前年度比2.7％増の緊縮型となり、都においても前年度比2.3％増と低い伸び率である。こうした中、新基本構想を策定して三二年をめざして出発する節目の年に編成された平成4年度予算案は、来たるべき高齢化社会及び国際化・高度情報化、さらにはリサイクル社会への確かな道筋を見すえて編成されており、また、各種の財政指標も健全な財政体質を維持しており評価できる。予算規模は対前年度比16・4％と大幅増で、積極的に起債及び積立金を活用するなどして歳入を拡大し、計画事業も94事業中92事業を予算化し、新規拡大事業も122事業で、この数年最高となっている。今後これらの事業の完全実施に向けて最大の努力をするともに、多様化する区民要望に十分応えていただきたい。

わが党は、生活者の政治すなわち人間を主役としたぬくもりとうるおいのある街づくりを基本に、人生80年時代にふさわしい新しい福祉社会システムの形成等115項目に及ぶ予算要望を区長に提出したが、これらの要望が数多く予算化されていることを評価する。特別養護老人ホームや高齢者民間アパート借上げ、ひとり親家庭住み替え貸助成、重度障害者緊急通報システムなどの他、公共下水道・公園及び親水水路の整備、生物園などのハード面でも、わが党の主張が取り入れられている。なお、老人性白内障障眼内レンズ助成事業として計上された予算は、4月から保険適用され不用となるので、手術のできない方のための特眼眼鏡・コンタクトレンズ等の助成事業として転用するよう望むものである。

本予算委員会や本会議等で、わが党の議員が提案し要望した事項を十分理解され、前向きに検討されるよう要望し討論を終る。

日本共産党足立区議団

反対

区民に新たな負担を強いる豪華庁舎
建設をやめ、区民本位の予算にせよ

国や都が2％台の伸びで予算編成しているのに対し、当区は一般会計16・42％増の積極予算と胸を張っているが、その中味は、ため込み金の取り崩しと起債の前年度比212％増などで賄っており、目につく大型プロジェクト偏重で区民の生活水準を引き上げる視点がなく、逆に区民が行政サービスを受けるものは殆ど値上げされている。

行革による厳しい定数管理方針の下で職員を削減し続ける一方、公的責任を放棄した第三セクターを設立して義務的経費を押さえて込んでいる。あいあい公社の援助協力員制度は破綻し、株式会社都市活性化センターは中小小売業者に幻想を与えるものでしかない。生活保護も「適正化」を口実に窓口での申請拒否や過度の就労指導によって保護世帯数を減らし、介護者も1世帯あたりの日数・時間数を大きく後退させている。区民検診は巡回検診を廃止して受診料を値上げし、理由にならない放置自転車撤去料徴収を続けている。教育では新学習指導要領の小学校全面実施で詰め込み教育を更に過密化し、学校5日制実施の条件整備も行わず、給食費や就学援助などで父母負担を増大させている。新たに義務教育施設建設基金をつくるのはため込み過ぎとの批判をかわすものであり、豪華庁舎建設は区民に新たな負担を強いるものである。このような無駄遣いをやめ、職員削減方針を撤回しゴミ・リサイクル条例や住宅基本条例の制定乳幼児医療費助成などを進めるべきである。

国保会計は毎年黒字であるにもかかわらず均等割を大幅値上げし、老人医療会計も年齢による医療格差と自己負担増を予算に反映しており、いずれも賛成できるものではない。区長はわが党の指摘を謙虚に受け止め、住民不在の予算から住民本位の予算へと組み替えるよう強く要求し討論を終る。

日本社会党足立区議団

賛成

基金や区債の積極的活用を評価する
国保給付事業には前向きに取り組め

バブル経済が崩壊し厳しい経済情勢の下で編成された平成4年度予算案は、一般会計で2千158億円余、対前年度比16・4％増という積極型予算となった。しかも、公債費比率は7.7％と昨年より0.3ポイントの減となり、義務的経費も38％と前年度より4.7％下回るなど、極めて健全な財政運営が堅持されている。また、各基金の積極的活用を図り、適債事業を積極的に見込んだ特別区債の大幅増によって財源確保に努め、投資的事業の拡大に努めたことは、時を得た前向きな予算と評価する。

しかも、今後とも計画事業に沿った基金が用意されており、当区の財政運営は十分健全性が維持されていくものと受け止めている。次に、本会議を通じ一層の努力を払っていただきたい事業について申し添えておく。

一、北千住駅西口再開発事業関係地権者とのコンセンサスの早期確立

一、個人情報保護条例の早期制定に向けた体制の確立

一、新庁舎建設に伴う交通アクセスの確保と広い住民のコンセンサスの確立

一、高齢化社会に向けた社会基盤の整備

一、心身障害者（児）施設の充実強化

一、（株）足立都市活性化センターの活動

次に、国保会計については、今般保険料の改定が行われることになったが、次のことについて都・区とも前向きな取り組みを求める。

一、特別減税措置については、一般減免制度と併せて被保険者に一層の周知徹底を図れ。

一、減免措置の周知徹底に際しては、外国人への十分な配慮と適切な対応を図れ。

一、助産費、葬祭費等の付加給付についてはその改善を国に求めよ。

最後に、当委員会での発言及び予算要求書を十分踏まえて今後の事業執行にあたっていただくことを要望し討論を終る。

足立区民連合

賛成

計画事業を誠実に予算化しており評価
不納欠損対策には一層の努力を

平成4年度は足立区政上大きな節目の年であり、極めて重要な時期である。

区制60周年を迎える中で、新庁舎建設に着工し、第2次基本計画の仕上げと第3次基本計画の策定に着手する年である。さらに、本庁舎の跡利用について審議会が発足するなど大きな課題が山積している。

さて、景気の冷え込みが予想以上のものがある中で編成された本予算案は、実施計画の計画事業及び我々の予算要望について誠実に予算化されており評価する。

厳しい経済情勢の中ではあるが、積立基金の積極的な活用を図るなどして、区政が停滞することなく着実に前進できるのも、徹底した事務事業の見直しなどの行政改革に努めたからである。今後も区政の伸展を図りつつ、引き続き行政改革に果敢に取り組まれるよう要望する。

本予算案の中で特に評価される事業としては、商工振興を図るため中小企業融資の増額、株式会社足立都市活性化センターの設立、老人福祉ではシルバークラブの整備運営、あいあい公社の法人化と資産活用サービス・給食サービスの開始、環境整備では親水水路や公園の整備を進められ下水道の普及を図ったこと、区施設初の地下駐車場が総合スポーツセンターに完成すること、教育面では、放送大学学習センターの開設、中学生のベルモント派遣が各校1名になったこと、また、サービスの拡大と経費節減を目的とした公社の積極的活用も評価されることである。

今後改善と努力を要するものとしては、毎年出てくる不納欠損対策があげられる。これは不公平行政のそりを免れないものであり、格段の徴収努力を要望し、賛成討論を終る。

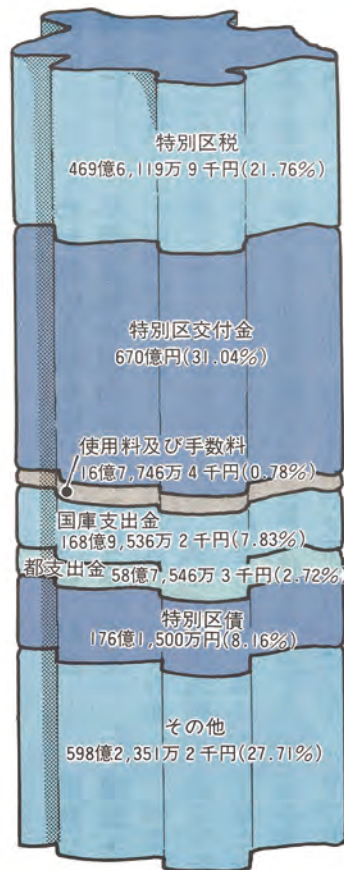


平成4年度各会計予算

一般会計

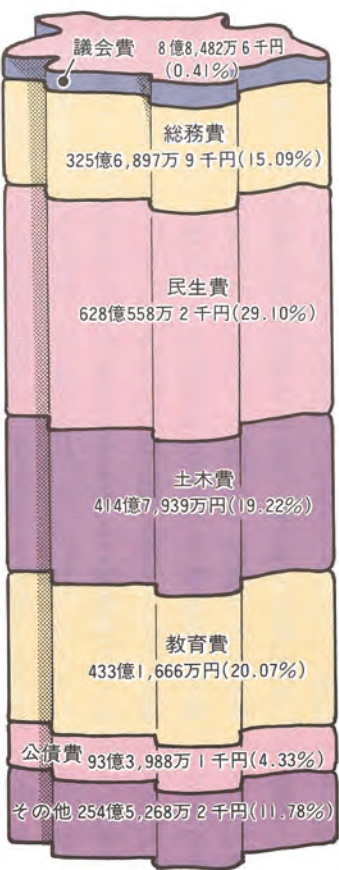
歳入の部

2,158億4,800万円(100%)



歳出の部

2,158億4,800万円(100%)



国民健康保険
特別会計

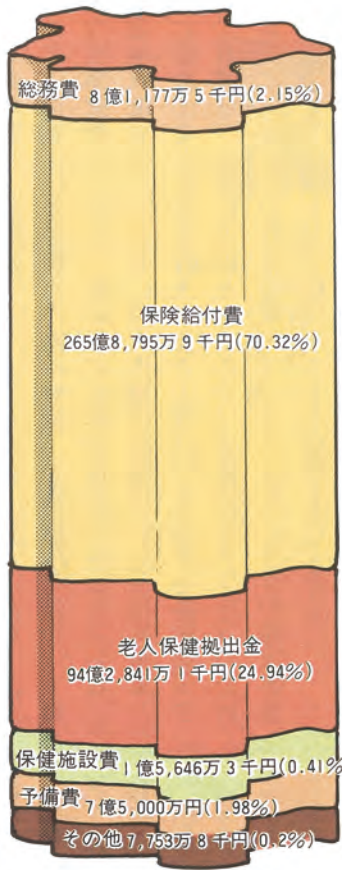
歳入の部

378億1,214万6千円(100%)



歳出の部

378億1,214万6千円(100%)



歳入の部 293億1,993万6千円(100%)

老人保健医療
特別会計

歳出の部 293億1,993万6千円(100%)

みなさんからの
請願・陳情

不採択にしたもの

- 足立区の保育・児童福祉の充実、および職員の待遇改善に関する請願(1〜6項)
 - 保育・児童福祉の充実を求めた請願の中の次の6項目
 - ①福祉事業の国庫削減率を8割に還元・拡充するよう政府・関係省庁への意見書採択を求める
 - ②保育料の値下げを求める
 - ③保育園の入所は、申請があればいつでもできるように求める
 - ④私立保育園の定員割れによる措置費減収の補助を0歳児に限定せず、3歳児まで適用するよう求める
 - ⑤私立保育園の障害児保育充実のために、こども一人につき正規保育母が配置できるよう、予算の増額を求める
 - ⑥私立保育園の障害児保育充実のため、巡回指導を行い専門機関との連携が持てるようにすることを求める
- 西伊興児童館・学童保育室存続に関する請願
- 現在この区の方針である西伊興児童館の廃館計画を考え直し、現状のまま存続するよう求める
- 公衆浴場再開に関する陳情
- 公衆浴場「繁の湯」(東和四丁目15-10)が、突如閉鎖された結果、多数の利用者が不便を

きたしている。そこで、区としても浴場が早期に再開できるように、東京都及び関係機関に働きかけるよう求める。

継続審査にしたもの

- (仮称)「ゴミ減量・リサイクル条例」の制定に関する陳情(42件)
- 熊倉・菅原邸南側42条2項道路、ブロック塀(違反建物)に関する陳情
- 避難通路確保と単身者用アパート建設反対に関する陳情
- 足立区内都営バス路線新設に関する陳情
- 義務教育費国庫負担法改正反対に関する請願
- 足立区の保育・児童福祉の充実、および職員の待遇改善に関する請願(7〜9項)
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願
- 都市計画公園の変更を求める請願
- 「コメのいっさいの市場開放反対の意見書」採択に関する陳情
- 子どもたちの命にかかわる授業時水泳指導に対して、介助員の配置を求める請願

新たに提出されたもの

- (仮称)「ゴミ減量・リサイクル条例」の制定に関する陳情
- 革靴の関税割当(TQ)制度の維持・強化等を求める陳情
- 足立区高齢者入院見舞い金制度の実施を求める陳情
- 乳幼児医療費無料制度実施を求める陳情(31件)
- 中川地域のサイクリング・ロードの照明灯設置に関する陳情

○足立区住宅基本条例制定に関する陳情

取り下げられたもの

- (仮称)「グラン・デール竹の塚」ワンルームマンション建設に関する陳情
- 足立区南花畑二丁目38番地に於ける八階建て共同住宅建設に関する請願
- 東京都青少年の健全な育成に関する条例の早期改正についての陳情(4件)

議会短信

- 住所の変更
秋山秀俊議員の住所と電話番号が、平成4年3月21日付で、次のとおり変更になりました。
(住所)
〒123 西新井本町四-2-12
(電話番号)
(三九九)五五七七
- 議場でミニコンサート
今定例会開会に先立ち、千寿第六小学校吹奏楽部の皆さんによる議会ミニコンサートが行われました。同校はこの3月でその輝かしい歴史を閉じられましたが、議場一杯に元気の音楽が鳴り響き、満席の傍聴者の暖かい拍手をあげていました。

